

# フィールド科学人材育成プログラムの概要

## 養成する人材像

### 理学分野の基礎科学と農学分野の応用科学の融合：

生態系・環境の保全、災害対策、環境動態など、野外のさまざまな場面で必要とされる知識と技術を併せ持ち、それらを統合して現代社会が抱える複雑化した諸問題を総合的に理解し、さまざまな現場（フィールド）で課題解決できる実践的な人材を養成する。

### 就職先：野外活動の実践力を備えた理系人材

- 環境・建設・水産コンサルタント
- 造園・緑化関連企業
- 環境アセスメント
- 報道機関(テレビ局など)
- 自然保護NPO
- エコツアー・山岳ガイド

### 新潟県の多様な自然環境と新潟大学の人的資源を活用：

- 理学部附属臨海実験所
- 農学部附属フィールド科学教育研究センター（演習林）
- 災害・復興科学研究所（附置研究所）
- 朱鷺・自然再生学研究センター（研究推進機構）

協働

## 2年第2学期～4年

### 理学部と農学部の学生が共に学ぶ

- 理学部と農学部が共同で教育プログラムを提供
- 研究所やセンターの教員も教育に参加
- 複数の分野横断型指導による授業形態
- 卒業時に取得する学位は、入学した学部により、学士（理学）、または学士（農学）

**課題研究：理学部、農学部のどちらの学部の教員からも卒論指導を受けられる。研究所やセンターの教員による卒論指導も可能。**

- ✓ 生態学分野（野生動植物の保全・管理、自然再生、生態系管理など）
- ✓ 災害科学分野（自然災害発生のメカニズム、自然環境・生態系に配慮した防災・減災対策、災害復興など）
- ✓ 環境動態分野（生態系や自然災害にかかわる気象学、地形・地質学、海洋科学など）

### フィールド科学リテラシー科目（必修）：

技術者倫理・自然環境関連法規、フィールド安全論、フィールドワーカーのためのリスクマネジメント実習  
→ 技術者や研究者に必須の心構え、野外活動に必要な安全に関する知識と技術を学ぶ。

### 専門基礎・専門講義科目（選択必修）：

自然環境に関する基礎的な知識と、生態や生物多様性保全、防災・災害復興、自然再生、環境動態などの応用的な知識を習得

### 専門実習・演習(AL)科目（選択必修）：

野生動植物の生態・自然再生や災害科学の現場に即した野外実習、多様な自然環境からなる広範囲なフィールドでの実習・体験  
→ 幅広い視野と多角的な視点を養い、実際にフィールドで活動できる実践力を養う。

## 1年～2年第1学期

### 理学・農学における基礎の学び

⇒理学部と農学部それぞれの基礎科目を学ぶ  
理学部（200名）  
農学部（175名）

（2年第2学期：プログラム移行） 定員：理学部10名・農学部10名

【理学部】 理学部共通コア科目  
理学部共通ベーシック科目

【農学部】 就業力育成科目 グローバル科目  
農学部入門科目・主題科目

自然系共通専門基礎科目 大学学習法 教養教育科目 英語・初修外国語

## アドミッションポリシー

数学や理科に興味を持つとともに他分野への応用にも関心があり、自然災害発生のメカニズムの解明や野生動植物の生態・保全、防災・減災対策・災害復興に関する知識・技術の修得を通して、多様なフィールドでの実践活動に意欲のある人。